

## 日本気象協会 2021年 春の花粉飛散予測(第1報) ～広い範囲で前シーズンより多く 例年より少ない～

### ◆2021年 春の花粉飛散予測のポイント(2020年9月30日 発表)

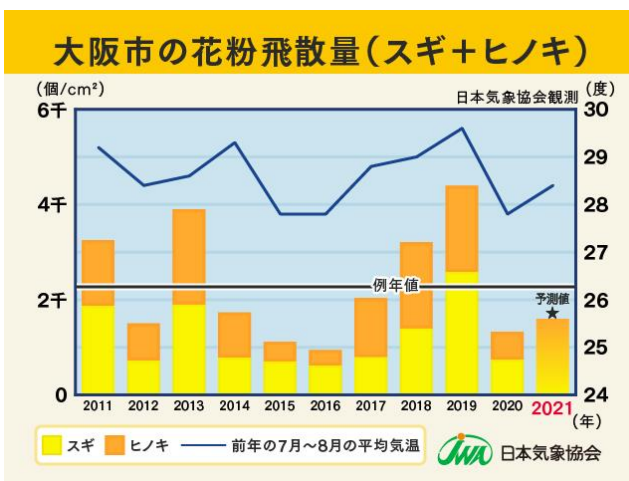
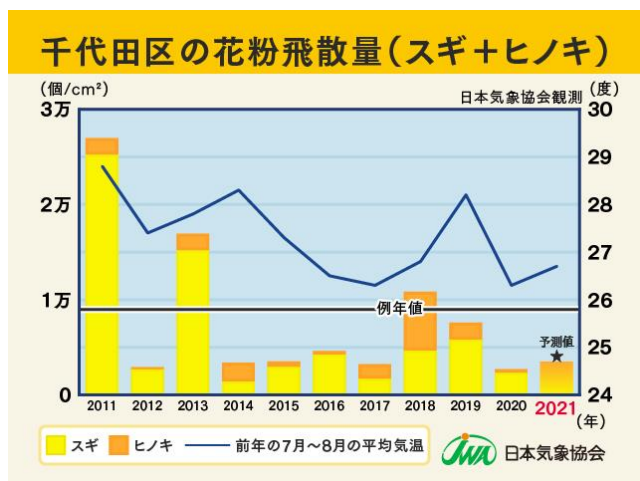
- ・広い範囲で前シーズンより多く、四国、東海、北陸は非常に多い予想
- ・例年に比べると九州から東北まで少なくなる
- ・九州と関東甲信は例年より非常に少ない見込み

一般財団法人 日本気象協会(本社:東京都豊島区、理事長:長田 太)は、2020年9月30日(水)に全国・都道府県別の2021年春の花粉(スギ・ヒノキ、北海道はシラカバ)飛散予測(第1報)を発表します。また、詳細な情報を、「2021年春の花粉総飛散量 予測資料」として販売します。

### 1.2020年シーズンの花粉飛散状況まとめ

2020年シーズンの花粉の飛散量は、九州から東北南部の多数の地点で例年よりも少なくなりました。特に、熊本や佐賀、長野、栃木では例年の20%ほどの飛散量となり、非常に少なくなりました。一方、秋田と北海道では例年に比べて多い飛散量となり、青森も例年よりやや多くなりました。

また、東京と大阪の過去10年の飛散傾向を見てみると、東京では2020年シーズンは例年より非常に少なく、大阪では少なくなりました。東京では2年続けて例年より少ない飛散量となっています。



### 2.飛散量の予測根拠

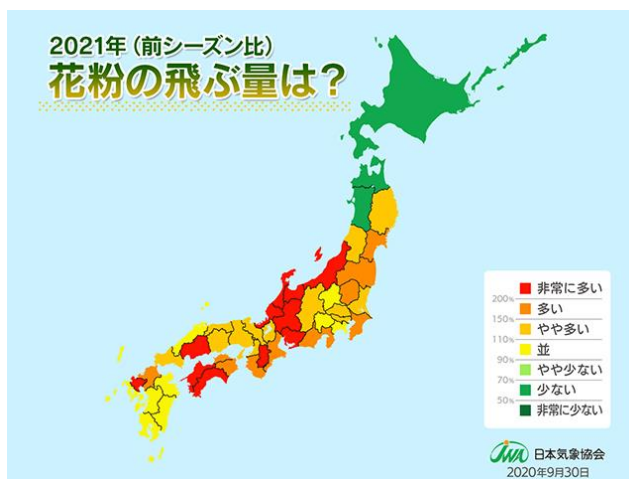
花粉の飛散量は前年夏の気象条件が大きく影響します。気温が高く、日照時間が多く、雨の少ない夏は花芽が多く形成され、翌春の飛散量が多くなるといわれています。

2020年の夏は、7月は日本付近に梅雨前線が停滞し続けたため、九州から東北にかけて降水量が多く、西日本と東日本では日照時間が記録的に短くなりました。一方で8月は、勢力の強い太平洋高気圧に覆われ、西日本と東日本では気温がかなり高く、日照時間は多くなりました。北日本では気温は高く、日照時間は太平洋側では多くなりました。

### 3.2021年シーズンの花粉飛散傾向

2021年春の花粉飛散予測は、九州から東北にかけて広い範囲で例年より少ない見込みです。特に、九州と関東甲信は非常に少なく、近畿でも非常に少ない所があるでしょう。東海や北陸は例年よりやや少なく、北海道は例年並みの予想です。

一方、前シーズン比で見ると、九州から東北南部にかけて、前シーズンに比べて多くなり、特に四国や東海、北陸を中心に非常に多い飛散量となる見込みです。東北北部と北海道では前シーズンより少なくなる予想ですが、これは前シーズンの飛散量が例年より多かったためです。



### 4.各地域の花粉飛散傾向

地方	飛散量				2020年夏の気象		
	例年比	地方平均値	前シーズン比	地方平均値	気温	降水量	日照時間
北海道	例年並	100%	少ない	60%	高い	平年並	平年並
東北	少ない	50%	前シーズン並	90%	高い	多い	平年並
関東甲信	非常に少ない	40%	やや多い	120%	かなり高い	かなり多い	平年並
北陸	やや少ない	70%	非常に多い	270%	高い	かなり多い	少ない
東海	やや少ない	70%	非常に多い	200%	かなり高い	かなり多い	平年並
近畿	少ない	50%	やや多い	140%	かなり高い	かなり多い	平年並
中国	少ない	50%	やや多い	120%	高い	かなり多い	平年並
四国	少ない	60%	非常に多い	210%	高い	多い	平年並
九州	非常に少ない	30%	やや多い	120%	高い	かなり多い	平年並



#### 【花粉の種類について】

北海道はシラカバ、その他はスギ・ヒノキ花粉の飛散量を表します。

#### 【飛散量に関する言葉の説明】

非常に多い	:前シーズン (例年)の 200%以上
多い	:前シーズン (例年)の 150%以上 200%未満
やや多い	:前シーズン (例年)の 110%以上 150%未満
前シーズン(例年)並	:前シーズン (例年)の 90%以上 110%未満
やや少ない	:前シーズン (例年)の 70%以上 90%未満
少ない	:前シーズン (例年)の 50%以上 70%未満
非常に少ない	:前シーズン (例年)の 50%未満

---

前シーズン	:2020 年シーズン飛散量
例年	:過去 10 年(2011～2020 年)の平均値

#### 【2020 年夏の気象に関する言葉の説明】

平年	:1981～2010 年の平均値
----	------------------

#### ◆日本気象協会の花粉飛散予測とは

日本気象協会は 1990 年からスギ花粉の飛散予測を発表しています。日本気象協会の花粉飛散予測は前シーズンの花粉飛散結果や今後の気温予測などの気象データをもとに、全国各地の花粉研究会や協力機関からの情報、花芽の現地調査の結果などをふまえて予測しています。

・本情報の無断での法人利用(プレスリリースでの引用や販促目的使用など)はご遠慮いただいております。  
商品 PR など法人利用をご検討の際はお問合せフォーム(<https://www.jwa.or.jp/contact/>)からご連絡をお願いします。

#### ◆本件に関する報道機関のお問い合わせ先

一般財団法人 日本気象協会 広報室 TEL:03-5958-8147 FAX:03-5958-8144 広報室メールアドレス jwapr@jwa.or.jp まで